

2006年11月6日

## 企業論の小テスト実施方法について

川端望

### 成績評価における小テストの位置づけ

小テスト全体で30点、期末試験で70点配点の100点満点とする。

小テストを1度でも受けたものは履修放棄ができない。

### 実施回数と実施日

3回とする。1回の配点は10点である。

実施日は予告しない。実施した場合には、その事実をメーリングリストに配信し、また翌稼働日までに掲示する。

### 方式

×式とする。

持ち込み不可とする。

### 出題範囲

実施時点まで行った授業の範囲とする。2回目以後の小テストも同様であり、前回の小テスト以後の授業の範囲には限定されないので注意。

### 欠席について

やむを得ず欠席した者は、試験日の7暦日後（休日も1日と計算）までに、欠席理由を証明する書類を添えて川端まで申し出ること。川端が研究室に不在の場合は留守電か電子メールでまず連絡を取ること。何も連絡がない場合は本人の責任として申し出を認めない。

『学生便覧』の「専門教育科目の履修上の注意」記載の追試験該当事由と同等の理由であると教員が判断した場合は、当該小テスト受験者全員の平均点を与える。

就職内定先からの呼び出し、就職関係セミナーについては、当該小テスト受験者全員の平均点と5点のうち、低い方を与える。これらについても、当該企業等が発行した証明書類を提出することが条件である。本人作成の書類のみでは認めない。当該企業等の担当者の署名・押印があればよい。

以上